

(このマニュアル内のメールアドレスの*は@に変換すること)

緊急時連絡先:リエゾンラボ研究推進施設(096-373-5786)

発生研全員+センター事務 all-imeg*kmm.kumamoto-u.ac.jp

災害発生直後の構内避難場所：本荘中地区の中央スペース(4施設の中央)

1.大地震発生時

- 発生時は、机などの下に隠れ、まずは自分の身を守る。
- 揺れが収まったら、身近にある物についてのみ対処。危険な実験機器の電源 OFF、都市ガス元栓を閉める（大きな揺れでは自動停止する）、炭酸ガスポンペを根元から閉める。
- 声をかけあって怪我人や火災がないことを確認。**次の大きな揺れが必ずすぐ来るので、階段を使って屋外に避難。構内避難場所へ。**
- ラボごとに集合し点呼、負傷者、不在者の確認。
- その場に居合わせたメンバーの中で**責任者（教員・技術職員等）を決め**、情報を集中させる。
- 怪我人、建物、機器、火災の問題がクリアされたら、責任者は、帰宅か避難所への移動かを判断する。**状況を所長及び発生研全員+センター事務にメール（上記）で連絡し**、同メールで建物への立ち入り制限を発令する（安全優先、不要な立ち入りを防ぐため、迷ったら発令する）。
- 技術職員は緊急用 PC（全員の連絡先、メール文（和文、英文）のひな形を事前準備）を携帯して避難し、情報発信を担当する。
- 各自は水、食料、宿泊場所を確保する。（災害支援が届くまで3日かかる）

負傷者発生時

- 119 番通報→責任者に報告
- 自動体外式除細動器(AED)：玄関ロビー 救急箱：1階&5階ラウンジ

火災発生時

- 大声で周囲に知らせ、協力を仰ぐ。
- 非常ベル→119番→初期消火→無理せず避難→責任者に報告

翌朝（揺れが収まってきたら）

- 緊急対策本部を1階カンファレンスルーム（独立した1階建てのため）に設置する。
コアメンバーは、所長、副所長、技術職員とする。駆けつけ可能なPIをサブメンバーとする。
- 複数人で建物内の初期確認を行い（炭酸ガス漏れに注意）、立ち入り制限の継続・解除を判断する。
被害状況によって、緊急対策本部は専門業者による倒壊の危険度判定を依頼する。
- 緊急対策本部は、助教以上の教員を招集する。
- 水、電気、ガス、建物（床下の漏水、漏電も）、機器（停電復旧時の通電火災に注意）、炭酸ガス、液体窒素を確認する。非常用発電機は約20時間持続する。
- 技術職員から所員全員にメールで情報提供し、安否をPIに報告するよう要請する→PIは研究室メンバーの安否をセンター事務及び緊急対策本部に報告する。全学の安否確認システムからもメール配信されるので、併用する。
- ホームページから情報発信 <<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>>
建物内へ立ち入り不可の場合は発生研 Facebook 利用。web上で「facebook 発生医学」で検索

2. 風水害(台風・大雨による洪水) 発生時

- 技術職員が館内放送あるいはメールで情報・指示を連絡
- 研究室ごとに人員確認。
- 自宅にいるものは無理をせず待機。所在場所を PI に連絡する

● 緊急対策本部（緊急時は1階カンファレンス室に設置）

コアメンバーは携帯電話番号を共有すること

所長 丹羽 仁史 [096-373-6620] <niwa*kumamoto-u.ac.jp>

副所長 西中村 隆一 [096-373-6615] <ryuichi*kumamoto-u.ac.jp>

中尾 光善 [096-373-6800] <mnakao*kumamoto-u.ac.jp>

技術職員 関 丘 <tseki*kumamoto-u.ac.jp> 臼杵 慎吾 <usu*kumamoto-u.ac.jp>

谷 直紀 <naotani*kumamoto-u.ac.jp> 安永 桂一郎 <yk1*kumamoto-u.ac.jp> [096-373-5786]

生命科学系事務ユニットセンター事務チーム [096-373-6637] ※緊急時、教職員の安否確認連絡先はここ

● 緊急時の連絡先

救急：熊大病院 防災センター [096-373-5917]

熊大病院 外来担当（時間内 8:30～17:15） [096-373-5972]

熊大病院 時間外受付（時間外 17:15～8:30） [096-373-5996]

熊本地域医療センター [096-363-3311]

ガス：西部ガス(株) [096-355-1241] ガス漏れ [096-325-0919]

水道：熊本市水道局 [096-361-5448] 漏水 [096-361-5555] 漏水時間外 [096-361-5590]

電気事故：九州電力(株) 熊本営業所 [0120-968-604]

漏電：電気保安協会熊本支部 096-364-5188

液体窒素：内村酸素 096-237-4411 （供給不能の場合は IBBP へ連絡）

大学連携バイオバックアッププロジェクト (IBBP) 0564-59-5930 ibbp*nibb.ac.jp

● 避難場所

一時避難場所：本荘小学校（中央区本荘 6 丁目 5-47）。広域避難場所：代継橋下流左右岸（中央区本荘 3・5 丁目）。2016 年熊本地震の際には、保健学科と薬学部にも避難所が設置された。



●インターネット・携帯電話の災害用伝言版

NTT docomo https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/	au http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/	Softbank http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/
		

●日常で準備・確認しておくこと

熊本市災害情報メールへの登録 https://www2.fastalarm.jp/kumamoto/htdocs/	熊本市ハザードマップ(洪水・高潮・地震) ダウンロードしておく http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2121
	

●避難場所について

熊本市が指定する避難場所は以下のサイトで確認しておく。

熊本市中央区管内の一時避難場所一覧 http://www.city.kumamoto.jp/loc/pub/default.aspx?c_id=16	熊本市の広域避難場所一覧 http://www.city.kumamoto.jp/loc/pub/default.aspx?c_id=15	世継橋の水位メーター http://urx.blue/ydTL
		